

■招詞 申命記 32:1-2 「天よ、耳を傾けよ。私は告げよう。地よ、聞け、私の語る言葉を。私の教えは雨のように降り注ぎ／私の言葉は露のように滴る」

■礼拝の祈り

天におられるわたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

あなたに招かれて、今朝もこうして御前にこうして立たされて礼拝をすることができる、ことを感謝いたします。あなたは、ただどこか遠くで何をしているのかわからない存在ではなく、生きておられ、わたしたちとともにいてくださり、わたしたちとの交わりを喜んでくださる神であります。そのすべてがつまったこの礼拝を聖霊によって豊かにしてくださいますように。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

すべてを造られ、ご支配なさるあなたのみまえにこうして立たされているからこそ、私も自身がどれだけ真実の謙遜と恐れをわきまえているか、自らを顧みさせられます。あなたがわたしたちのすべてを知っておられることを忘れ、自分の罪を認める、自分の罪にきづくことに鈍いのではないかと思わされます。

もしあなたの前に、わたしたちが正しく悔い改めていないならば、どうかこの岩を砕いて、あなたの真実に立ち返らせてください。心を尽くし、思いをつくし、精神を尽くしてあなたを愛しているか、もう一度自分に問い直させてください。そのときに、自分しか愛しておらず、神も人も愛していない自分に気付かされます。あなたを忘れて自分を誇り、自分の満足を求め、隣人を愛するのではなく、自分の正しさを声高にさけび、人を裁くことに熱心になり、自分の利益を求める貪りの心にいきていなかったか、正直に問うことができますように。

このようなわたしたちであるならば、どうして愛してくださるのか。わたしたちにはわかりません。しかし、どうか神よ、このような自分ですから、あなたなしでは生きていけないのです。憐れんでください。御顔をむけてください。罪を数えないでください。今、ここであなたの子とされたことを思い起こさせてください。あなたに愛されているものがどのように生きるのか、信仰にふさわしい生き方を教えてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

今、御言葉によってこの世界が罪にまかせてほろびていくのではなく、あなたの救いの御計画の中にある、終わりの日への栄光の歩みの中にあることを確かにさせてください。この教会を、同じお一人の主につながる仲間の教会を、自分たちの栄光を求める群れではなく、あなたの栄光を求め、表す群れとして、真実の道を歩み、力を与えてください。先週は一人の信仰の友を御許にお委ねしました。寂しい思いがいたしますけれど、そのきょうだい愛し、命をかけてまで守り続けた御言葉の礼拝をわたしたちは続けたいと心から願います。この礼拝もあなたからあたえられます御言葉によって、わたくしどもひとりひとりと、教会が歩んでいることをたしかにさせてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<礼拝感謝>

<召された友の御許での平安を感謝します>

一人の信仰の友、を御許にお委ねいたしました。一週間前に主イエスへの信仰を告白し、恵みへと生かされ、そしてあなたによって地上の生を終えました。葬儀では多くの遺族、教会員とともになぐさめと希望のみ言葉を聞くことができました。感謝いたします。それでもなお、寂しい思いがいたします。しかし、このわたしたちの今日の礼拝が天の主に連なる礼拝であることに思いを向けます。なにかが終わったのではなく、礼拝の歩み続けるようにとあなたはおっしゃいます。これからもこの藤沢北教会の礼拝を導いてください。語られましたように終わりの日の復活へとわたしたちの歩みをこれからも導いてください。

<分かち合い感謝>

豊かに与えられたものをわかちあうための、チャリティの食事を今日は行います。生活のために必要なものが得られますようにと、フィリピンの子どもたちの顔を思い浮かべながらすとします。分かち合う事ができることも恵みです。この交わりを感謝いたします。

<困難の中にある人を救ってください>

今、心や体に困難を覚えている人たちがいます。希望を失い不安の中にいる人がいます。助けてください。あなたの救いが必要です。聖書に記されているように主イエスのもとに癒しと救いを求めてすぐる信仰をお与えください。そして、あなたからの救いの恵をお与えください。

<祈り深い一週間にしてください>

新しい一週間を歩み始めます。祈りの中に過ごしたいと願っています。祈り深い一週間にしてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように。アーメン。